

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・「先生はわかりやすい授業になるようにいろいろ工夫している」と生徒は86.8%が答えている。今年度も「授業と家庭学習の効果的なつながり」をテーマに研究を進め、十分に浸透させることができなかったため、さらに強化を図る。 ・「この学校でたくさんのお話を学び、成長している」と答えた生徒は81.4%、保護者は82.4%であり、一人ひとりの個に応じた指導の成果が出始めているので、今後も継続させていく。
------------------	--

2 学校教育目標	夢に向かい主体的に学び、行動できる生徒の育成 ～信頼・温もり・スマイル三～
----------	--

3 本年度の重点目標	・主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善と家庭学習をつなげる手立てを探る。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●主体的・対話的で深い学びを促す活動を中心とした授業づくりの実践	●先生は、分かりやすい授業になるようにいろいろ工夫していると回答する生徒が80%を上回る。	・主体的・対話的で深い学びを促す活動を中心とした学習形態の工夫に取り組む。 ・校内研究授業の充実を図る。							・研究主任 ・学力向上推進教員 ・研究推進委員
	○「ふりかえりシート」と「家庭学習のステップ」を活用	○家庭学習の時間を1時間以上とることができている生徒が、70%を上回る。	・「ふりかえりシート」と「家庭学習のステップ」を活用して、授業と家庭学習のつながりを深める工夫に取り組む。							・研究主任 ・学力向上推進教員 ・研究推進委員
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○この学校でたくさんのお話を学び、成長していると回答する生徒が90%を上回る。	・道徳教育の充実 ・生徒の「出番」「役割」「承認」を大切にしたい学校行事や生徒会活動の充実 ・集会の内容の充実							・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・生徒指導主事 ・生徒会担当
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校が楽しいと回答する生徒が90%を上回る。	・毎月いじめアンケートの実施をする。 ・ネットいじめ防止及び情報モラル教育に関する講演会を実施する。							・人権・同和教育担当者 ・生徒指導主事 ・教育相談主任 ・情報教育担当
	●自問清掃の取り組みにより、心の成長につながる。	○自問清掃が心の成長につながっていると回答する生徒が80%を上回る。	・自問清掃の意義や考え方を生徒集会や職員研修で伝え、周知徹底をはかる。							・清掃担当 ・生徒会担当 ・生徒指導主事
●健康・体づくり	①「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ②「安全に関する資質・能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ②(学校独自成果指標) ③「健康に食事は大切である」と考える児童生徒85%以上 ④児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・生徒会と連携し健康な体作り、食事の大切さを考え、実践と結びつける活動の実施。 ・自他の安全に気をつけ、生活する態度の育成を図る。 ・AEDの使用に係る講習会の実施。							・保健体育担当 ・保健主事 ・食育担当 ・教育相談主任 ・生徒会担当
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定と徹底。 ・部活動休養日の徹底。 ・行事の振り返りと次年度改善点を共有。						

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○校内研における学力向上の取り組み	ともに学び合い、高め合う生徒の育成～授業と家庭学習のつながりを深める工夫を通して～	学校評価アンケートで1時間以上の家庭学習の時間を1時間以上とることができている項目において、70%達成。	授業と家庭学習をつなぐため、家庭学習ノート(かけしノート)の全職員共通理解による共通実践。							・研究主任 ・学力向上推進教員 ・研究推進委員

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------